

8月30日（日）は総合防災訓練

# 災害は忘れたころにやってくる

市役所危機管理課  
☎ 055-948-1482

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。  
市では、8月30日（日）に総合防災訓練を実施します。  
各地区の訓練に積極的に参加しましょう。  
地区の訓練内容などは、地区の回覧などで確認してください。

ー 8月30日（日）当日ー

8：30 に訓練地震発生サイレン

8：30 に南海トラフ巨大地震（マグニチュード8.0 クラス、市内全域で震度6弱以上）が発生したと想定し、訓練地震発生合図として、同時刻に同報無線のサイレンを吹鳴します。

大きな

災害時の情報入手方法を確認しよう



同報無線

市役所からの緊急放送、屋外スピーカーから放送が流れるほか、防災ラジオ、戸別受信機で聞くことができます。

同報無線が聞こえなかったら？

同報無線で放送した、最新24時間以内の内容を電話で確認することができます。

通話料は無料。ただし利用できる範囲は、市外局番が「055」「0558」「0557」の地域に限ります。また、携帯電話、PHSは、県内のみ利用可能です。※防災ラジオでも聞くことが可能です。

同報無線電話確認サービス（24時間・無料）

☎ 0800-200-1219



市民向けメール配信

市役所からの緊急情報をメールで受信するには、メールアドレスの登録が必要です。

- 登録方法
- ① 下記のEメールアドレスに空メールを送信
  - ② 返信メールの受信
  - ③ URLにアクセス
  - ④ 登録
  - ⑤ 完了メールを受信



izunokuni-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com



緊急速報メール

携帯電話会社のサービス、気象庁の緊急地震速報などのほか、市役所からの避難勧告などを受信します。

緊急地震速報（震度6弱以上が予想される場合）が発令された場合には気象庁から、また、避難勧告や避難指示などの生命に関わる緊急性の高い情報が発令された場合は、市から配信されます。携帯電話の電源さえ入っていれば、メール着信時には、マナーモードにしているでも音になる仕様になっています。

※一部機種は受信できないものもあります。詳細は各携帯電話会社にお問い合わせください。

FMラジオ

災害時は、市役所からの要請により災害放送を実施します。

※FMいずのくにの放送時間内（7時～21時）に火災が発生した場合、火災情報も発信中。

FM 87.7 MHz

テレビのデータ放送など

市役所からの避難勧告などは、テレビのデータ放送で確認することが可能です。

災害用伝言ダイヤル

大規模災害時には、電話がかりにくくなります。家族や親せきなどの安否確認には、災害用伝言ダイヤル「171」を使いましょう。防災週間中や毎月1日、15日は、体験利用ができます。

田方消防本部「災害情報ダイヤル」

田方消防本部管内で発生している火災などの災害情報を、電話で聞くことができます。（自動応答、24時間運用）  
☎ 0558（77）2000

ペットの災害対策、  
しています。



避難が必要な災害が発生したとき、ペットは飼い主と「同行避難」することが望ましいとされています。そのためには、日ごろから避難のために必要な「しつけ」や「健康管理」を行い、ペット用の避難用品、備蓄品を用意しておくことが大切です。

※「同行避難」とは、災害時においても飼い主がペットを適切に管理できるよう、避難所や避難地へペットと共に避難することです。避難所で飼い主とペットが同居生活することではありません。

## 【防災ラジオQ&A】

Q1：まだ申し込めるの？

A1：若干ですが在庫があります。希望する人は、市役所危機管理課窓口（伊豆長岡庁舎）で手続きしてください。（申込書の記入、個人負担金1台2,000円のお支払などをしていただきます。その場でお渡しできます。）

Q2：雑音がひどいんですけど、なおるの？

A2：同報無線を受信するときの前後に数秒間、信号が流れます。これは除去できませんが、アンテナの長さを調整したり、防災ラジオを置く場所を変えたりすることで、雑音を小さくすることができます。

Q3：放送内容が聞き取れないんですけど、どうしたらいいの？

A3：建物の構造や周辺建物の配置などにより、電波状況が変わってしまいます。まずは、防災ラジオを置く場所を変えたり、アンテナの長さを変えたりして、感度の良いところを探してください。どうしてもうまくいかない場合は、市職員が調整に伺います。（家電製品が電波を干渉している場合もあるようです。）

※毎日7：00、12：00、17：00のチャイム放送、平日15：00の下校案内放送などで、受信状況を確認してください。

※8月30日（日）は、防災訓練の情報を複数回、同報無線で放送します。（8：00、8：30、9：00、10：00の予定。）

1週間の  
目安  
（1人分）

飲料水



1日3ℓ×7日  
= 21ℓ

食料



3食×7日= 21食

カセットコンロ・カセットボンベ



調理用の  
備蓄に最適

ボンベ1本で1.5ℓのお湯を  
約10回沸かすことができます。

食べたら



買い足す

日常使う食材や非常用の食料品を、消費しながら備蓄していく方法。また、古いものから先に使うように収納を工夫すると上手に循環できます。

飲料水などは、家のスペースを活用し、備蓄していきましょう。

災害時、  
家庭で  
自活  
するために

ローリング  
ストック法  
（回転備蓄）